

技術情報/ねじ止め作業のコツ

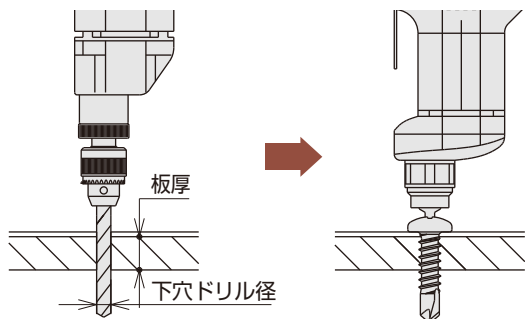
ねじ止め作業は、正しく行わないと締結強度や保持力が発揮されなくなります。取付物によってはねじが破損したり板浮きやバカ穴が開いたりします。

それを防ぐために、失敗しない方法やドライバーの選び方などをご紹介します。

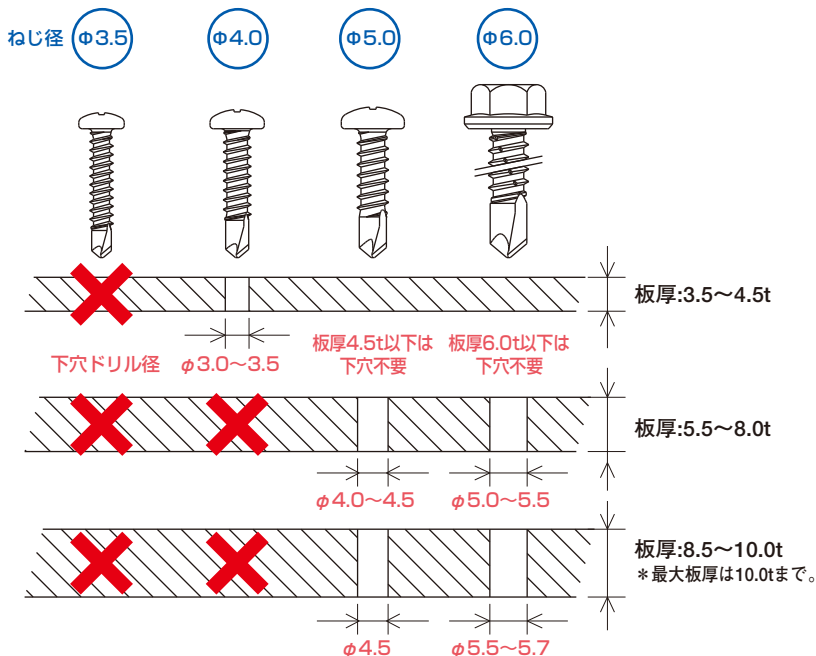
下穴をあけて使用する場合

ジャックポイントは、下穴なしで鋼板に穴あけ、タップ、ねじ締めがワンタッチできるねじです。それぞれのねじ太さに応じて使用可能な下地の厚さが定められています。(ジャックポイント各製品表適用板厚欄参照) やむを得ず適用板厚を超えた厚鋼板に使用する場合は、適正な下穴をあけてください。ただし、厚鋼板同士や重量物を取り付けるとせん断荷重に耐えられず、ねじ折れる危険があります。小型軽量物(例-安全表示板など)の取り付けに限定してください。

厚鋼板に下穴をあけてジャックポイントを使用する場合の下穴径



使用されるねじ径と鋼材板厚によって下記の下穴をあけてください



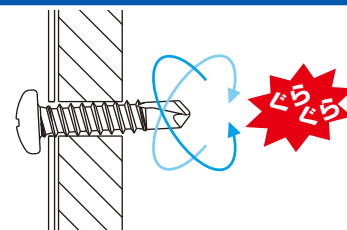
●適用下地厚概要

ねじ径	適用板厚
φ3.5	2.3mmまで
φ4.0	3.2mmまで
φ5.0	4.5mmまで
φ6.0	6.0mmまで

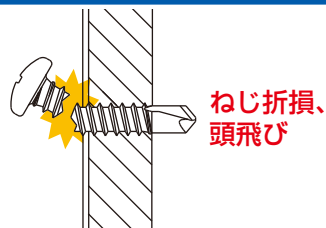
※特殊ねじは上記以外のこともあります。詳しくは弊社製品総合カタログの品番サイズ表にある適用板厚欄をご確認ください。

× 誤った下穴径で締め付けを行いますと鋼材やねじを破損することになりますのでご注意ください。

下穴が大きい場合



下穴が小さい場合



厚鋼板どうしの場合

